

Moodle2.5における機能改善について

森野 誠之（愛知大学非常勤講師）

1. はじめに

本学では2013年度からMoodleをバージョンアップし2.4を使用している。大きな変更であったために導入当初は操作に慣れない教員も多かったが、講習会・サポートスタッフによるサポートなどにより漸く落ち着いてきたようである。Moodle自体は約半年ごとにバージョンアップを繰り返しており、原稿執筆時点（2013年11月）では2.6のベータ版がリリースされている。ここでは安定版であるMoodle2.5での機能改善点を紹介する。

2. Moodle2.5で追加されている主要新機能

2.4導入時ほどの大きな変更ではないが使い勝手の面で改善されている。

Moodle2.5で追加されている主要新機能を列挙する。

- ・レスポンシブウェブデザインを採用
- ・コースに設置するフォルダの内容をインラインで展開可能
- ・画像をドラッグ&ドロップでアップロードする際にラベルとリソースの選択が可能
- ・WYSIWYG（テキスト）エディタがデ



図1. PC用デザイン 横幅1280px

フォルトで非表示


- ・活動モジュールなどの詳細設定が折りたたまれて表示
- ・課題モジュールで課題の再提出が「なし」「手動」「合格するまで自動」の3つに

愛大Moodle 2.5.2テスト

愛知大学Moodle 2.5.2テスト

ラベル表示テスト

 13年度版にリンク

 ページ作成テスト

コースカテゴリ

▼ **管理用** (1)

▷ サブカテ

▷ **その他**

すべてを折りたたむ すべてを展開する

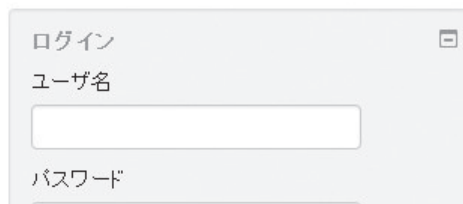


図2. スマートフォン (iPhone5s) 用デザイン 横幅320px

2-1. レスポンシブウェブデザインを採用

レスポンシブウェブデザインとは画面 (ブラウザ) の幅に合わせてデザインが自動的に変化する手法のことであり, PC・スマートフォンなどのデバイスごとにデザインテーマやHTMLデータを用意することなく表示させることができる。一つのソースを使用するために管理・更新の手間が省けるメリットがあり, これからのWebサイト制作の主流になっていくであろう手法である。現在の2.4においてもスマートフォン対応はしているがスマートフォン用に作成されたデザインテーマを表示している。

図1, 2のように画面(ブラウザの横幅)に合わせてデザインが変化する。デバイスで変わるわけではなく横幅で変わるためにPCでもブラウザの横幅を狭くすればスマートフォン用のデザインになることに注意が必要である。

2-2. コースに設置するフォルダの内容をインラインで展開可能

コース内に複数のファイルをアップロードする際はフォルダ機能を使うことが多いが, フォルダ内を見るには毎回クリックして表示させる手間があった。2.5はコース内にインライン表示させることができ, この手間を省くことができ

セクション1

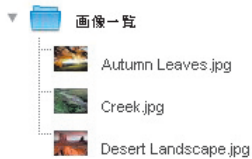


図3. フォルダのインライン表示

る。

図3はフォルダをインライン表示させたものである。フォルダアイコンの左にある▼をクリックすることで折りたたむこともできる。フォルダ内のファイルは縦に並ぶためにファイル数が多い場合は見づらくなる点と、フォルダごとダウンロードさせることはできず、zip形式などで圧縮したものをアップロードする必要があるので、用途によって使い分けることとなる。

2.3. 画像をドラッグ&ドロップでアップロードする際にラベルとリソースの選択が可能

2.4ではFirefox, Chromeなどのブラウザでファイルをドラッグ&ドロップでアップロードすることができたが、2.5からはさらにラベルとリソースでの追加が選択できるようになっている。ファイルをコース内にドラッグ&ドロップすると



図4. ラベルとリソースの選択画面



図5. ラベルとリソースでアップロードしたもの

図4のような選択画面が表示される。

ラベルとリソースのそれぞれでアップロードしたものは図5のように表示される。ラベルの場合はコース内に埋め込まれ画像のサイズが大きい場合は自動的に縮小されて表示される。リソースの場合は2.4と同じである。2.4ではラベルとして表示させる場合はリソースからラベルを選択し画像を埋め込む操作が必要であったが、それが簡素化されている。

ラベルテキスト*

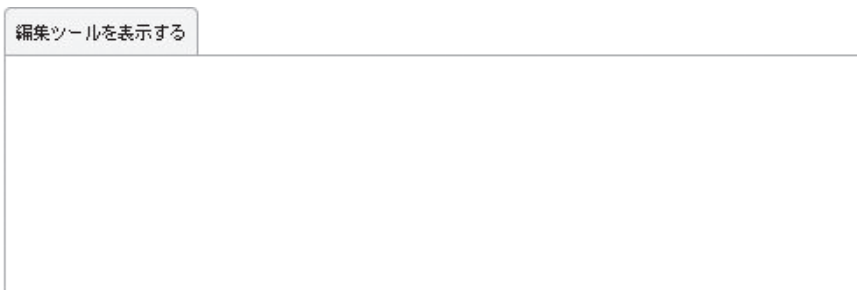


図6. WYSIWYGエディタが非表示となっている場合

ラベルテキスト*

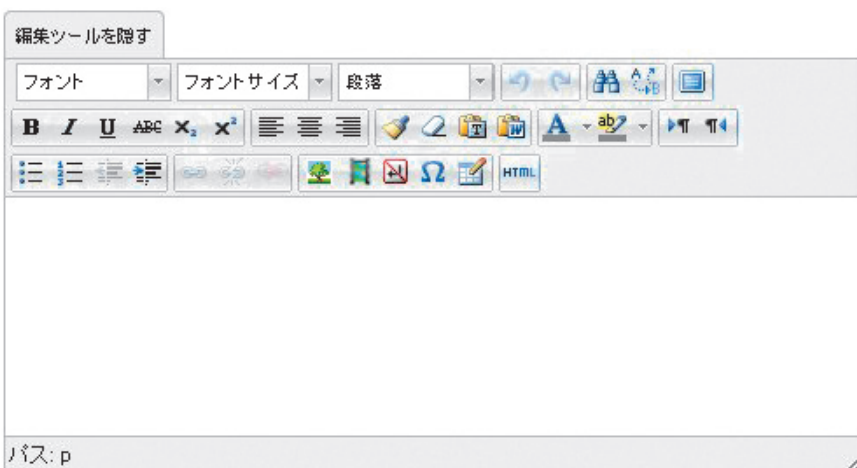


図7. WYSIWYGエディタが表示となっている場合

2-4. WYSIWYG（テキスト）エディタがデフォルトで非表示

ラベルテキストなどのテキスト入力時にはWYSIWYGエディタが表示されていたが2.5からデフォルトでは非表示になっており、ページの読込が早くなっている（図6）。

文字装飾、リンクの作成などを行う際

は図7のようにWYSIWYGエディタを表示させることになる。

2-5. 活動モジュールなどの詳細設定が折りたたまれて表示

活動モジュールなどでの詳細設定の表示にも変更がなされた。従来は全ての項

▼ 提出タイプ

提出タイプ オンラインテキスト ファイル提出 提出コメント

最大アップロードファイル数

1

最大提出サイズ

1MB

▶ フィードバックタイプ

▶ 提出設定

▶ グループ提出設定

▶ 通知

▶ 評点

▶ モジュール共通設定

図8. 折りたたまれて表示された詳細設定

目が表示されていたが、2.5からあまり使わない設定は折りたたまれて表示され必要に応じてユーザー側で設定を開くようになってきている。(図8)

使い慣れたユーザーには不便なケースもあるが、使い慣れていないユーザーにとっては余分な設定を見ずに設定することができるため、より使いやすくなっている。

2-6. 課題モジュールで課題の再提出が「なし」「手動」「合格するまで自動」の3つに

課題モジュールでは提出の締切期限に「合格するまで」が追加された。これは締切期限以降でも合格点に満たない場合のみ再提出を認める機能であり、合格点を超えている学生は再提出ができない。課題の条件を満たしていない学生に再提出をさせるには便利な機能であるが、点数を付けないと機能が使えないために履修

提出設定

学生に提出ボタンのクリックを求める ?	<input type="button" value="No"/>
学生に提出同意書の承諾を求める ?	<input type="button" value="No"/>
提出再オープン ?	<input type="button" value="手動"/>
最大提出回数 ?	<input type="button" value="なし"/>
	<input type="button" value="手動"/>
	<input type="button" value="合格するまで自動"/>

図9. 課題再提出設定

者数が多い科目での利用はかえって手間が増えることが想定され、利用の判断が難しい機能である。

3. 注意点と今後の課題

本稿で示した画像はいずれも開発中のものである。また、本学への導入については未定である。今回の改善点はMoodleもしくはPCを使い慣れたユーザーにとっては便利なものであるが、それ以外の利用者が使いにくくなっては本末転倒であるために導入は慎重に検討したい。オープンソースであるMoodleは開発速度が速くセキュリティ面でのアップデートも必要であるため、アップデートする際の機能確認、マニュアル作成、ユーザーテストなどの期間を十分にとることが肝要である。